

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（概要）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場等

優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場（8事業11公演）を開催するとともに県民参加型イベント「ピッコロフェスティバル」（35団体3,486人）を開催した。

（1）ベイビー・プログラム（旧シアタースタート）

「ヒョーゲンアソビノバ」（7月）、くわえ・ぱぺっとステージ「ビーンズ・ドリーム～まめちゃんのゆめ～」/「パンツでパンツ」（9月）※0～3歳児と子育て中の保護者などを対象にした劇場体験事業

（2）文学座「撰」（11月）

（3）ピッコロ寄席 桂米朝一門による5公演（5月～3月）

「塩鯛 米紫 二人会」、「桂枝雀一門 南光・雀三郎・文之助 三人会」、「桂吉朝一門会」、「桂米團治独演会」、「子どもと楽しむ落語会」

2 ピッコロ劇団事業等

多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場、わくわくステージ等）（50公演10,519人）を開催するとともに、劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを実施した。

（1）本公演

「あしあとのおと、ものがたり」（5月～6月） 作＝山本正典（コトリ会議） 演出＝原竹志（ピッコロ劇団）

「宇宙に缶詰」（9月） 作＝肥田知浩 演出＝サリ ngROCK（突劇金魚）

「神戸 わが街」（2月） ソートン・ワイルダー作『わが町』より

潤色＝別役実・ピッコロ劇団 演出＝吉村祐樹（ピッコロ劇団）

（2）オフシアター

Vol.40「パレードを待ちながら」（4月） 作＝ジョン・マレル 訳＝吉原豊司 演出＝中島深志（ピッコロ劇団）

（3）ファミリー劇場

「さらって行ってよピーターパン」（8月・12月） 作＝別役実 演出＝眞山直則（ピッコロ劇団） 音楽＝谷川賢作

（4）ピッコロ・わくわくステージ

「あしあとのおと、ものがたり」（5・6月）

「さらって行ってよピーターパン」（11・12月）

※中学生向けピッコロ劇団演劇鑑賞体験事業 37校3,841人が鑑賞

（5）おでかけステージ（10月～11月）

「学校ウサギをつかまえろ」 原作＝岡田淳（偕成社刊） 台本＝眞山直則（ピッコロ劇団）

演出＝吉村祐樹（ピッコロ劇団）

※観劇機会の少ない子どもたちの演劇鑑賞体験事業（県内小学校体育館等での上演）

（6）演劇の指導・ワークショップへの派遣（派遣数：44か所）

（7）鑑賞サポート

音声ガイド付き公演（5公演） バリアフリー字幕付き公演（3公演）、手話通訳・要約筆記付き公演（1公演）

3 人材育成・体験活動事業

（1）ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇学校 本科（17名修了）、研究科（14名修了）、舞台技術学校（18名修了）

（2）文化セミナー〈103〉（7月）

玉岡かおるさんに聞く「舞台に魅せられて～観客席から舞台創作にジャンプ！～」（248人）

（3）文化セミナーラボ（1月）

ピッコロ劇団設立30周年記念・阪神・淡路大震災30年

シンポジウム「災害と演劇を考えるー繋げる・繋がるためにー」（187人（オンライン参加者を含む））

（4）ひょうごプレミアム芸術デー（7月）

文化セミナー〈103〉（再掲）及びベイビー・プログラム「ヒョーゲンアソビノバ」（再掲）

（5）ピッコロ実技教室（8・3月）

「40歳からのワンコイン演劇講座」（8月）、「まわしよみ新聞 演劇ワークショップ〈壁新聞を演じてみよう〉」（8月）、「ちやっと！狂言～入門編～」（8月）、ピッコロオペラ教室「オペラの楽しみ方」（3月）

（6）研修生や県立芸術文化観光専門職大学等の受け入れ

4 施設の管理運営事業

【ホール等利用実績】

区 分	利用者数（人）			利用率（％）		
	H30年度	5年度	6年度	H30年度	5年度	6年度
計	130,284	98,616	110,950	92.7	92.7	92.0

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（評価）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場等

- （１）鑑賞劇場、ピッコロフェスティバル等の事業を予定通り実施することができた。利用者数はコロナ禍前の水準にほぼ回復した。
- （２）鑑賞劇場入場者のアンケートでは、満足度（「とてもよかった」「よかった」）は、演劇 91.7%、伝統芸能 87.4%と高い評価を得た。

2 ピッコロ劇団事業等

- （１）阪神・淡路大震災 30 年・ピッコロ劇団設立 30 年であったことから、マスコミからの取材も増え関心が高まる中、公演は予定通り実施できた。入場者は 10,519 人となり昨年度より増加した。（R5 9,648 人）
- （２）観客アンケート調査での満足度（「とてもよかった」・「よかった」）は、本公演で 92.4%、ファミリー劇場公演で 96.7%、わくわくステージで生徒 91.7%、教員 88.7%と高い評価が得られた。また、わくわくステージの生徒アンケートでは、「また演劇を見たい」との回答が 89.9%となり、演劇文化の裾野の拡大に寄与することができた。
- （３）聴覚・視覚障害者への鑑賞サポートや在留外国人を対象とした先駆的なワークショップなど、当劇場がこれまで取り組んできた社会包摂事業が高く評価され、先導的な取組として大学やシンポジウム等での講演依頼があるなど全国的にも注目されている。
 - ※在留外国人を対象としたワークショップの功績により、ひょうご国際交流団体連絡協議会「草の根国際功労賞表彰」（R6.5）を受賞した。
 - ※障害者への鑑賞サポートや劇団の被災地支援活動、在留外国人を対象としたワークショップ等の功績により、内閣府の「令和 6 年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」において、ピッコロシアター・ピッコロ劇団が「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」（R6.12）を受賞した。

3 人材育成事業・体験活動事業

- （１）ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営は、公立劇場では全国初の取組であり、これまでに、演劇学校本科 1,304 名、同研究科 789 名、舞台技術学校 882 名の計 2,975 名の卒業生を輩出している（令和 6 年度生卒業まで。令和 2 年度体験プログラム修了生を除く）。卒業生の中には、劇団や舞台制作会社などに就職する者がいるなど、地域文化を担う人材の育成に貢献した（満足度調査結果：全体で 96.8%）。
- （２）令和 4 年度から、舞台芸術の魅力を掘り下げる文化セミナーラボを本格的に展開するとともに、「災害と演劇」という新たな切り口により、ピッコロシアターに初めて来館する顧客を開拓するなどの成果を上げた（観客アンケート調査での満足度 100%）。
- （３）県立芸術文化観光専門職大学から 9 名の学生を受け入れるなど、中学校・高校・大学との人材育成の連携を深めた。

4 施設の管理運営事業

- （１）令和 6 年度の利用者数は、前年度から約 13%増の 110,950 人、利用率もコロナ禍前の水準に概ね戻ってきた。引き続き、施設の安全・安心な管理運営の下、魅力的な事業をより多く提供することにより利用者数の増加に努めていく。
- （２）ピッコロシアター満足度調査（R6.11.1～12.28 実施）では、開館時間で利用者の 86.7%、施設サービスで 85.0%、清潔さで 94.2%、スタッフ態度で 93.3%、施設全体で 94.2%が「満足」又は「大変満足」と回答しており、利用者からは概ね高い評価を受けている。

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（詳細）〕

1 主催公演事業

（１）ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催した。

また、子どもと大人が一緒に楽しめる演劇や落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに優れた舞台芸術にふれる機会を提供した。

事業名	公演年月日	出演者等 ※ ピッコロ劇団員	入場者数
ピッコロ寄席 「塩鯛 米紫 二人会」 (大ホール)	6. 5. 13	出演＝塩鯛、米紫、二豆	244
ベイビー・プログラム 「ヒョーゲンアソビノバ」 (中ホール)	6. 7. 13 (2公演)	アーティスト＝鈴木英理子 (ダンス)、今村達紀 (ダンス)、 長谷川諒 (音)、hanajos (ガムラン)、 至剛 (絵)	119
ピッコロ寄席 「桂枝雀一門 南光・雀三郎・ 文之助 三人会」 (大ホール)	6. 8. 17	出演＝南光、雀三郎、文之 助、まん我、天吾	369
ベイビー・プログラム くわえ・ぱぺっとステージ 「ビーンズ・ドリーム～ま めちゃんのゆめ～」 ／「パンツでパンツ」 (中ホール)	6. 9. 27 (2公演)	作・演出＝つげくわえ	89
文学座公演 「撰」 (大ホール)	6. 11. 9～10 (2公演)	作＝瀬戸口郁 演出＝西川信廣 出演＝新橋耐子、富沢亜古ほか	538
ピッコロ寄席 「桂吉朝一門会」 (大ホール)	6. 12. 14	出演＝あさ吉、吉弥、よね吉、 佐ん吉	378
ピッコロ寄席 「桂米團治独演会」 (大ホール)	7. 2. 3	出演＝米團治、浅野美希 (三 味線)、團治郎、米舞	372
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	7. 3. 8	出演＝吉弥、佐ん吉、二豆	225
合 計 8事業			2,334

(2) ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を中心に約1か月にわたり、地域で創造活動に取り組む若者等の演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、その鑑賞等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」を開催した。

時期：令和6年8月1日（土）～8月31日（日）

場所：ピッコロシアター各ホール

区分	部 門 等	参加 団体	出演者数 参加者数	入場者数
県民参加 企画	小・中・高校演劇	6	165	708
	大学演劇・一般演劇	4	74	237
地域団体 連携企画	バリアフリーコンサート	8	92	121
	人形劇フェスタ阪神	11	140	189
	令和の演劇向上委員会	1	34	98
体験企画 【ピッコロ 実技教室】	40歳からのワンコイン演劇講座	—	1	22
	まわしよみ新聞 演劇ワークショップ 「壁新聞を演じてみよう」	—	4	21
	ちゃっと！狂言～入門編～	1	4	24
	オペラの楽しみ方	—	4 (*1)	73 (*1)
特別企画	ピッコロ劇団ファミリー劇場 「さらって行ってよピーターパン」（再掲）	1	50	913
	ピッコロ寄席 桂枝雀一門南光・雀三郎・ 文之助 三人会（再掲）	1	8	369
協賛企画	エデュケーションワークショップ 「D I E コース in 関西」	1	4	10
	関西二期会オペラ研修所修了オペラ公演	1	16 (*1)	105 (*1)
合 計		35	596	2,890

*1：台風10号接近のため8月ではなく2025年3月19日に延期して開催

2 ピッコロ劇団公演事業

尼崎青少年創造劇場が長年培ってきた人材育成事業の集大成として創設した県立ピッコロ劇団が、優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興をめざして、ピッコロシアター等での演劇公演を中心に、演劇指導、外部出演など多彩な活動を展開した。

【設 立】平成6年4月1日
 【劇団代表】岩松 了（劇作家・演出家・俳優）
 【客 員】鵜山 仁（演出家＝文学座）、
 喜志哲雄（京都大学名誉教授）、
 杉本了三（演劇プロデューサー）、
 内藤裕敬（劇作家・演出家＝南河内万歳一座）
 【劇 団 員】32名（男18名、女14名）（R7.3.31現在）

(1) 劇団公演の実施

大人向け、ファミリー向け、小・中学生向けなど、幅広く良質の創作演劇を提供した。

事業名	公演年月日	出演者等 ※はピッコロ劇団員	入場者数
オフシアターVol. 40 「パレードを待ちながら」 (中ホール)	6. 4. 12 ～14 (5 公演)	作＝ジョン・マレル 訳＝吉原豊司 演出＝中島深志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員	392
第 79 回公演 「あしあとのおと、ものがたり」 (大ホール)	6. 5. 31 6. 1～2 6. 8～9 (5 公演)	作＝山本正典 (コトリ会議) 演出＝原竹志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員 ＜アフタートーク＞ 6/8 山本正典、原竹志、 サリ ngROCK (突劇金魚)	826
わくわくステージ (5～6 月期) 「あしあとのおと、ものがたり」 (第 79 回公演と同演目) (大ホール)	6. 5. 31 ～6. 12 (9 公演)	作＝山本正典 (コトリ会議) 演出＝原竹志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員	1, 726
わくわくステージ(市町ホール公演) 「あしあとのおと、ものがたり」 (第 79 回公演と同演目) (福岡町エルデホール、赤穂化成ハーモニーホール)	6. 6. 17 6. 6. 24 (2 公演)		685
ファミリー劇場 「さらっていったよピーターパン」 (大ホール)	6. 8. 3 ～4 (4 公演)	作＝別役実 演出＝眞山直則 (※) 音楽＝谷川賢作 出演＝ピッコロ劇団員	913
わくわくステージ (11～12 月期) 「さらっていったよピーターパン」 (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	6. 11. 29 ～12. 6 (7 公演)		1, 430
ファミリー劇場 「さらっていったよピーターパン」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	6. 12. 21 ～22 (3 公演)		1, 158
第 80 回公演 「宇宙に缶詰」 尼崎市第 8 回「近松賞」受賞作品 (大ホール)	6. 9. 14 ～18 (6 公演)	作＝肥田知浩 演出＝サリ ngROCK (突劇金魚) 出演＝ピッコロ劇団員 ＜アフタートーク＞ 9/14 肥田知浩、サリ ngROCK、 谷口 遼、岩松 了	1, 110
おでかけステージ (小学校公演) 「学校ウサギをつかまえろ」 (養父市立建屋小学校、武庫西生涯学習プラザ、 三木市立吉川小学校、神戸市立大池小学校)	6. 10. 31 11. 9 11. 13 11. 15 (4 公演)	原作＝岡田淳 (偕成社刊) 台本＝眞山直則 (※) 演出＝吉村祐樹 (※) 出演＝ピッコロ劇団員	911
第 81 回公演 ピッコロシアタープロデュース 「神戸 わが街」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	7. 2. 21 ～23 (5 公演)	ソートン・ワイルダー作『わが町』より 潤色＝別役実・ピッコロ劇団 演出＝吉村祐樹 (※) 出演＝ピッコロ劇団員ほか オーディション等により関西俳優陣 6 名が出演 【関連企画】 ①シンポジウム「災害と演劇を考える～ 繋げる・繋がるために～」 ②「震災 30 年にあてって誰かに届けたい 記憶」の公募、SNS での劇団員に よる朗読及び劇場ホワイエでの掲示	1, 368
合 計 10 事業 (※) ピッコロ劇団員			10, 519

(参考1) 多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの実施状況

◆ 視覚障害者に向けて音声ガイド付き公演を実施

(1) わくわくステージ「あしあとのおと、ものがたり」(6.6.7 大ホール)

[参加者: 10 人]

(2) 第79回公演「あしあとのおと、ものがたり」(6.6.8~9 大ホール)

[参加者: 21 人]

ピッコロ劇団員による音声ガイドの実施

台本作成/ナレーション: 菅原ゆうき

(3) 第81回公演「神戸 わが街」(7.2.22) [参加者: 10 人]

音声ガイドの実施 台本作成/ナレーション: 吉江麻樹

◆ 聴覚障害者に向けてバリアフリー字幕付き公演を実施(舞台上で表示)

(1) わくわくステージ「さらって行ってよピーターパン」(6.12.6 大ホール)

(2) ファミリー劇場「さらって行ってよピーターパン」

(6.12.21、22 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール)

ピッコロ劇団員による字幕の実施

字幕作成: 菅原ゆうき オペレーション: 木之下由香

(3) 文化セミナー<103> (6.7.13 大ホール)

作家 玉岡かおるさんに聞く

「舞台に魅せられて~観客席から舞台創作へジャンプ!」

手話通訳、要約筆記字幕付き

(参考2) わくわくステージ参加校数等の推移

年度		公演数	参加校数	鑑賞者数			年度計
				生徒	教員他	計	
平成22年度		5	7校(公立5、私立2)	1,314	84	1,398	1,398
平成23年度		10	13校(公立8、私立5)	2,509	154	2,663	2,663
平成24年度		10	17校(公立11、私立6)	2,828	252	3,080	3,080
平成25年度		12	25校(公立18、私立7)	3,750	335	4,085	4,085
平成26年度	6月	8	13校(公立9、私立4)	1,972	159	2,131	5,238
	10月	8	13校(公立8、私立5)	2,926	181	3,107	
平成27年度	6月	10	19校(公立15、私立4)	3,272	212	3,484	5,711
	10月	8	15校(公立8、私立7)	2,091	136	2,227	
平成28年度	6月	12	32校(公立23、私立9)	3,136	286	3,422	6,041
	11月	8	16校(公立12、私立4)	2,446	173	2,619	
平成29年度	6月	11	31校(公立21、私立10)	3,074	276	3,350	5,976
	11月	8	14校(公立10、私立4)	2,447	179	2,626	
平成30年度	6月	14	36校(公立25、私立11)	3,692	329	4,021	5,660
	11月	6	13校(公立11、私立2)	1,477	104	1,639	
令和元年度	6月	12	29校(公立20、私立9)	3,075	391	3,466	5,728
	11月	8	23校(公立19、私立4)	2,088	174	2,262	
令和2年度	6月	—	(コロナ禍により中止)	—	—	—	1,602
	11月	10	21校(公立14、私立7)	1,466	136	1,602	
令和3年度	6月	8	8校(公立2、私立6)	846	85	931	2,365
	11月	9	14校(公立11、私立3)	1,311	123	1,434	
令和4年度	6月	9	18校(公立6、私立12)	1,942	153	2,095	3,880
	11月	7	17校(公立15、私立2)	1,634	151	1,785	
令和5年度	6月	10	19校(公立10、私立9)	2,746	354	3,100	4,460
	11月	6	16校(公立10、私立6)	1,228	132	1,360	
令和6年度	6月	11	22校(公立9、私立13)	2,080	331	2,411	3,841
	11月	7	15校(公立13、私立2)	1,271	159	1,430	

(注) 上記表には中学校以外の学校も含む。(特別支援学校、神出学園、山の学校、私立高校など例年数校程度)

(2) 演劇の指導

大学や高等学校等に劇団員を指導者として派遣することによる演劇ワークショップ等を県下各地で開催した。また、ピッコロ演劇学校においては、本科及び研究科の主任講師、助手をピッコロ劇団員が通年で担当した。

指導先、指導事業名	劇団員	実施 年月日	実施場所等
ピッコロ演劇学校 本科 講師	菅原ゆうき 木之下由香 木村美憂	通年	ピッコロシアター
ピッコロ演劇学校 研究科 講師	島守辰明 谷口 遼 中田綾乃	通年	ピッコロシアター
兵庫県立宝塚北高校 講師	孫 高宏	通年	兵庫県立宝塚北高校
兵庫県立伊丹北高校 講師	吉江麻樹	通年	兵庫県立伊丹北高校
プール学院高等学校 講師	菅原ゆうき 鈴木あぐり	通年	プール学院高等学校 (大阪市)
四天王寺中学校 講師	樫村千晶 三坂賢二郎	通年	四天王寺中学校 (大阪市)
近畿大学 講師	島守辰明	通年	近畿大学
大阪大学大学院人間科学研究科 特任研究員	中田綾乃	通年	大阪大学
クラーク記念国際高校芦屋 キャンパス 講師	中川義文	通年	クラーク記念国際高校 芦屋キャンパス
大阪アニメ・声優&eスポーツ 専門学校 講師	中川義文	通年	大阪アニメ・声優&eスポ ーツ専門学校
ヒューマンアカデミー神戸校 講師	眞山直則	通年	ヒューマンアカデミー神戸校
ABC みかげ保育園 講師	亀井妙子	通年	ABC みかげ保育園
児童劇団「リトル・ぐらん」 上演指導・演出	風太郎	通年	新沢地区公民館 (橿原市)
やんちゃんこ劇団 上演指導・演出	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	通年	中央北生涯学習プラザ他 (尼崎市)
コトリ会議 客員	原 竹志	通年	—
豊岡市新任職員研修 講師	菅原ゆうき	6. 4. 3	豊岡市健康福祉施設
兵庫県立西宮北高校 文化祭上演指導 講師	孫 高宏 今井佐知子	6. 4. 17 5. 8 5. 29 6. 8	兵庫県立西宮北高校
兵庫県立神崎高校コミュニケ ーション能力育成研修 講師	三坂賢二郎 堀江勇気	6. 4. 17	兵庫県立神崎高校
兵庫県立夢野台高校教育・心理 類型表現力育成向上ワークシ ョップ 講師	菅原ゆうき 三坂賢二郎	6. 4. 22 12. 13 12. 16 7. 1. 20	兵庫県立夢野台高校

キング醸造（株）新入職員研修 講師	中川義文	6. 4. 25	キング醸造(株)（稲美町）
西宮市立西宮東高校 文化祭上演指導 講師	島守辰明 中川義文 菅原ゆうき 中田綾乃	6. 4. 24 5. 29 6. 5	西宮市立西宮東高校
兵庫県立神戸鈴蘭台高校 文化祭演劇指導 講師	島守辰明 中川義文 菅原ゆうき 今井佐知子 風太郎	6. 4. 28 5. 31 6. 4	県立神戸鈴蘭台高校
【あつまれピッコロひろば】 養父市立建屋小学校演劇ワー クショップ 講師	孫 高宏 吉江麻樹	6. 5. 14 7. 9	養父市立建屋小学校
兵庫県立鳴尾高校 文化祭演劇指導 講師	中川義文 木村美憂	6. 5. 21 6. 4 6. 11	兵庫県立鳴尾高校
関西学院大学文学部 人文学総合 講師	島守辰明	6. 5. 23 6. 3 6. 10 6. 17 6. 24	関西学院大学
日本劇団協議会やってみよう プロジェクト「ワークショップ にほんごであそぼう！」 講師	菅原ゆうき 木村美憂	6. 5. 26	兵庫県立嬉野台生涯学習セン ター（加東市）
	菅原ゆうき 今井佐知子 木之下由香	6. 7. 20 ～21	小野市うるおい交流館エクラ
	菅原ゆうき 木村美憂 三坂賢二郎	6. 10. 14	加東市役所
ピッコロ演劇学校本科集中講 義 「ういろう売りせりふ」講師	孫 高宏	6. 6. 20 6. 27	ピッコロシアター 中ホール
県立総合教育センター 令和6年度高等学校初任者研 修校外研修 講師	菅原ゆうき 木之下由香 木村美憂	6. 6. 27 7. 4	兵庫県立教育研修所
「アソブダケ」 演劇ワークショップ 講師	木村美憂	6. 6. 27 7. 4	服部緑地都市緑化植物園 内（大阪府豊中市）／咲く やこの花高校テアトルチ ャイカ（大阪市）
兵庫県自治研修所 行政特別研修 講師	菅原ゆうき 鈴木あぐり	6. 8. 6	兵庫県自治研修所
ピッコロ実技教室 まわしよ み新聞&演劇ワークショップ 〈壁新聞を演じてみよう〉 講師	三坂賢二郎	6. 8. 18	ピッコロシアター 中ホール
池田市立五月山児童文化センター 演劇ワークショップ 講師	菅原ゆうき	6. 8. 18	池田市立五月山児童文化 センター

【あつまれ！ピッコロひろば】 養父市建屋小学校上演指導 講師	孫 高宏 吉江麻樹	6. 10. 7 10. 29 11. 11	養父市建屋小学校
尼崎医療生協病院 上演指導 講師	風太郎	6. 10. 11 11. 8	尼崎医療生協病院
児童厚生員等研修会 講師	亀井妙子 森 万紀 菅原ゆうき	6. 10. 28	兵庫県立こどもの館 (姫路市)
神戸松蔭女子学院大学 教育実習指導 講師	吉江麻樹	6. 10. 28	神戸松蔭女子学院大学
兵庫県立氷上西高等学校 演劇ワークショップ 講師	木村美憂 木之下由香	6. 11. 21	兵庫県立氷上西高等学校
関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科 講演会 「すべての人が演劇を楽しめるようにー障害者観劇サポートの取り組みー」 講師	菅原ゆうき (古川知可子 広報交流専門員)	6. 11. 15	関西学院大学上ヶ原キャンパス図書館ホール
兵庫県立神出学園演劇ワークショップ 講師	中川義文	6. 11. 26	県立神出学園
【あつまれ！ピッコロひろば】 尼崎市文化振興財団「おでかけアルカイク」演劇ワークショップ 講師	亀井妙子 森 万紀	6. 11. 27	尼崎市立浦風小学校
新国立劇場演劇研修所 講師	島守辰明	6. 12. 16 ～25	新国立劇場演劇研修所 (東京都)
(公財)東京都歴史文化財団 東京文化会館 Workshop Workshop! コンビビアル・プロジェクト 社会包摂のためのレクチャー&トレーニング 講師	菅原ゆうき (古川知可子 広報交流専門員)	7. 1. 18	東京文化会館大リハーサル室
西宮市立西宮東高校文化祭 上演事前指導 講師	菅原ゆうき	7. 2. 3	西宮市立西宮東高校文化祭
兵庫県立伊丹北高校文化祭 上演事前指導 講師	吉江麻樹	7. 3. 17	兵庫県立伊丹北高校

(3) 外部出演等

他劇団、地域団体等の依頼を受け、演劇公演、放送等での出演や演出などに劇団員を派遣した。

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所
自主映画 「プリティヴェイカント」出演	風太郎	6. 4～ (撮影)	大阪市内
ラジオ関西「平田オリザの舞台は但馬」 出演	原竹志	6. 5. 30	ラジオ関西

「日本の劇」戯曲賞 2024 第一次選考 審査員	眞山直則 島守辰明	6. 7～8 月	(公社) 日本劇団協議会
NHK 連続テレビ小説 「おむすび」 出演	岡田 力 風太郎 森 好文	6. 9. 30～ (放映)	NHK
尼崎信用金庫 特殊詐欺の未然防止に向けた啓 発番組 出演	孫 高宏 今井佐知子 中川義文	6. 10. 1～ (放映)	尼崎市内
三俣婦人会第五次総会 「お前のハンサムはギャグなのか」 出演	風太郎	6. 10. 25 ～10. 17	ドーンセンター (大阪 市)
公益社団法人日本劇団協議会 機関誌 join 我が劇団の「一枚の写真」 投稿	孫 高宏	6. 11 月～ (発行)	(公社) 日本劇団協議会
コトリ会議「おかえりなさせま せんなさい」 出演	原 竹志	6. 12. 5～9	伊丹市立演劇ホール AI・HALL
兵庫県立阪神特別支援学校中学部 読み聞かせ (朗読) 企画・出演	亀井妙子	6. 12. 10	兵庫県立阪神特別支援学校
尼崎市立北図書館 おはなし BOX 企画・出演	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	6. 12. 8	尼崎市立図書館
兵庫県立阪神特別支援学校小学部 おはなし BOX 企画・出演	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	6. 12. 13	兵庫県立阪神特別支援学校
みんなのあま咲き放送局「あま 咲きイブニング」 やんちゃんこ劇団 出演	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	6. 12. 24 (放送)	みんなのあま咲き放送局
シンポジウム「災害と演劇を考え るー繋げる・繋がるためにー」 登壇	孫 高宏 森 好文 原 竹志	7. 1. 5	ピッコロシアター 中ホール
市町ホール公演 おはなし BOX in 赤穂 企画・出演・技術・制作	風太郎 吉江麻樹 堀江勇氣 有川理沙 浜崎大介 銭大亮	7. 1. 18	赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール展 示室
ラジオ関西「ニュースの景色」 出演	吉村祐樹	7. 2. 11	ラジオ関西
ラジオ関西「平田オリザの舞台 は但馬」 出演	孫 高宏	7. 2. 20	ラジオ関西
写真版 LL ブック第5作 絵コンテ	風太郎	7. 3 月～ (発売予定)	樹村房出版
ひょうご外国人介護実習センター 「外国人介護職員 異文化理解・対応 力向上セミナー」 紙芝居上演 出演	風太郎 有川理沙	7. 3. 12	兵庫県福祉人材研修セン ター (神戸市)
やんちゃんこ劇団第5回公演 『尼崎CATS』(キャッツ ポッサムおじさんの 猫と付き合う方法より)『あの世とこの世でシャ バダバダ』 作・潤色・演出・振付・作曲	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	7. 3. 22～ 23	尼崎市立中央北生涯学習 プラザ大ホール

(メディア出演)

○CM出演

- ・三坂賢二郎 「JR 西日本 観光ナビアプリ tabiwa」(ラジオ)
「アークレイ」(ラジオ)
- ・岡田 力 「カーネクスト クルマダンナ編」(TV (ナレーション))
- ・菅原ゆうき 「ニンジャコード」(ナレーション)
「ダイキン うるさらX」(ナレーション)
「くずはモール」(ラジオ)
「パイロット フリクション」(ラジオ)
「ソフト99」(ラジオ)
「ロート製薬」(テレビCM ナレーション)

(4) ピッコロサポートクラブへの支援

尼崎商工会議所等が中心となって、平成8年に設立されたピッコロ劇団の後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動支援として、情報誌『into』発行など会員向けサービス事業を共同実施した。

【会員数(口数)】 法人会員・個人会員計 346 口 (R7.3.31 現在)

【情報誌の発行】 年4回発行 (A5版、20ページ)、約14,000部発行

【会員向け事業】 ピッコロ劇団公演チケット優待、稽古場見学会、茶話会、総会・交流会など。また、会員共通特典として、ピッコロシアター自主事業の1割引、優先予約など。

3 人材育成・体験活動事業

(1) ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇創造について幅広く学ぶ演劇学校(本科 昭和58年開設、研究科 昭和59年開設)、音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ舞台技術学校(平成4年開設)を運営している。関西・日本を代表する演劇人、舞台技術者等を講師陣に迎え、プロ、アマチュアを問わない演劇関係人材や地域の文化活動リーダー、文化施設スタッフ等の養成を継続した。

区 分	ピッコロ演劇学校	ピッコロ舞台技術学校
概 要	舞台づくりの楽しさや面白さを味わいながら、表現力や創造力を身につける等、将来の演劇創造者、地域に根差した文化活動リーダーを養成	クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設運営の活性化を図るため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術者を養成
期 間	6.4.23～7.3.2(本科、研究科)	6.4.23～7.3.2(音響、照明、美術)
場 所	ピッコロシアター	ピッコロシアター、 県立芸術文化センター(特別授業)
授 業	原則、毎週2回(火・木の夜間)	原則、毎週2回(水・金の夜間)
講 師	■本科 ▶主任講師 菅原ゆうき(※) 他 ■研究科 ▶主任講師 島守辰明(※) 他	■美術コース ▶主任講師 加藤登美子(大阪芸術大学准教授・舞台美術家) ■照明コース ▶主任講師 水野雅彦(舞台照明家) ■音響コース ▶主任講師 金子彰宏(県立芸術文化センター舞台技術部副部長 兼主任舞台技術専門員)
特別講師	平田オリザ、岩松 了、鐘下辰男他	山北史郎、服部 基、堀尾幸男
生 徒	本科 入学 20 名 修了 17 名 研究科 入学 15 名 修了 14 名	入学 24 名 修了 18 名 [美術 4 名、照明、8 名、音響 6 名]

※はピッコロ劇団員

【特別講義】

区 分	期 日	特 別 講 師	講義テーマ
演劇学校	6.5.11～12	岩松 了(劇作家、演出家、俳優、 県立ピッコロ劇団代表)	演劇を学ぶとは…
	6.6.1～2	平田オリザ(劇作家・演出家、劇団青年 団主宰、芸術文化観光専門職大学学長)	演劇的な言葉について
	7.1.25～26	鐘下辰男(劇作家・演出家、演劇企画集 団 THE ガジラ主宰、桜美林大学教授)	演技の基本
舞台技術 学校	6.5.19	堀尾幸男(舞台美術家、(株)ホリオ 代表取締役)	音の話～音響効果の 基礎～
	6.7.7	山北史郎(サウンドデザイナー、 (株)山北舞台音響 代表取締役)	舞台美術のはじまり
	6.7.14	服部 基(舞台照明家、(株)ライテ ィングカンパニーあかり組 顧問)	舞台照明を考える

【中間発表会 2024 Piccolo Passo ～小さな一歩～】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数
演劇学校本科 41 期生	6. 10. 26 6. 10. 27	「「あつ」～4つのオムニバス～」	112
演劇学校研究 科 40 期生	6. 11. 2 6. 11. 3	「盛夏－長崎より－ シーン発表」	99

【オープンキャンパス】

区 分	期 日	概 要	参加者数
舞台技術学校	6. 12. 17	学校説明、オペレーション体験、バックステージツアー	41
演劇学校	7. 1. 12	学校説明、現役学校生と一緒に身体訓練等の授業体験	24

【卒業公演（大ホール）】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数
演劇学校 本科 41 期生 舞台技術学校 32 期生	7. 3. 1～2	演目「春の遺伝子」 潤色・演出＝菅原ゆうき（※） 出演＝演劇学校本科 41 期生 17 名 美術プラン・製作・操作 ＝舞台技術学校生美術コース 4 名 照明プラン・操作 ＝舞台技術学校生照明コース 8 名 音響プラン・編集・操作 ＝舞台技術学校生音響コース 6 名	506
演劇学校 研究科 40 期生		演目「盛夏－長崎より－」 原作＝井上光晴「明日 一九四五年八月八日」 台本・演出＝島守辰明（※） 出演＝演劇学校研究科 40 期生 14 名	

※はピッコロ劇団員

（２）ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

令和 6 年度のピッコロ演劇学校生及び舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となる者及びピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者に贈呈した。

対 象 者	備 考
演劇学校本科(41 期生) 演劇学校研究科 (40 期生) 舞台技術学校 (32 期生) 各 1 名計 3 名	サントリー地域文化賞の副賞をもとに平成元年 3 月に創設。 その後、神戸新聞奨励賞、久留島武彦文化賞、紀伊國屋演劇賞の賞金、山根淑子氏の寄付等により基金額を増額。
菅原ゆうき 鈴木あぐり ピッコロ劇団員 2 名	

（３）ピッコロシアター文化セミナー

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を推進した。

（大ホール）

事 業 名	期 日	出演者等	入場者
<103> 作家 玉岡かおるさんに聞く 「舞台に魅せられて～観客席から舞台創作へジャンプ！～」	6. 7. 13	出演＝玉岡かおる（作家） 聞き手＝富居雅人（神戸新聞社）	248

(4) ピッコロシアター文化セミナーラボ

(シンポジウム「災害と演劇を考えるー繋げる・繋がるためにー」)

文化セミナーラボは、従来の文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーである。

令和6年度は、ピッコロ劇団設立30周年及び阪神・淡路大震災30年でもあることから、以下のシンポジウムを開催した。

[参加者187人(現地85名、オンライン102名)]

開催日：令和7年1月5日(日)14時～16時30分

場 所：ピッコロシアター中ホール(オンライン視聴あり)

内 容：

【第1部】

阪神・淡路大震災におけるピッコロ劇団および社会的・文化的な状況について
(進行・解説) 長沼隆之(神戸新聞論説副委員長)
孫 高宏(ピッコロ劇団)、
森 好文(ピッコロ劇団)

【第2部】

各地域での取り組み

野々下 孝(ARCT代表/仙台)、
松岡優子(SARCK代表/熊本)、
東川清文(金沢市民芸術村ドラマ工房ディレクター)

【第3部】

ディスカッション

「災害があったとき、演劇に携わる我々には何ができるのか」

(進行) ののあざみ(大阪市立芸術創造館館長)

八巻寿文(せんだい演劇工房10-BOX 二代目工房長)
野々下 孝(ARCT代表/仙台)、
松岡優子(SARCK代表/熊本)
東川清文(金沢市民芸術村ドラマ工房ディレクター)
原 竹志(ピッコロ劇団)

(5) ひょうごプレミアム芸術デー

開催日：7月13日(土)

内 容：

①ピッコロシアター文化セミナー[参加者248人](再掲)

②ベイビー・プログラム ヒョーゲンノアソビバ[参加者119人](再掲)

(6) 研修生等の受け入れ

開かれた劇場として、インターンシップをはじめとした研修生(中学生、高校生、大学生、教職員等)を、年間を通して内外から受け入れた。

《6年度の受入状況》

- ・県立芸術文化観光専門職大学(9名)、その他大学(7名)、
高校生(4名)、中学生「トライやるウィーク」(4名)
- ・劇場見学：大阪府立咲くやこの花高等学校演劇科 34名
尼崎市立上坂部小学校2年生 100名

(7) ピッコロ実技教室(再掲)

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図った。

<参加者数は(2)ピッコロフェスティバルに記載>

区 分	事 業 名	期 日	出演者（指導者）等
演 劇	演劇ワークショップ「40 歳からのワンコイン演劇講座」	6. 8. 11	大手前大准教授 瀬口昌生（元ピッコロ劇団員）
	まわしよみ新聞&演劇ワークショップ〈壁新聞を演じてみよう〉	6. 8. 18	陸奥 賢(まわしよみ新聞考案者、モンス・デザイナ) 三坂賢二郎(ピッコロ劇団員) 有川理沙(ピッコロ劇団員)
	令和の演劇向上委員会	6. 8. 27	高校演劇研究会阪神支部
伝統 芸能	ちゃっと！狂言～入門編～	6. 8. 24 ～25	大蔵流狂言方 善竹隆司
オ ペ ラ	オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所との連携企画		
	ピッコロオペラ教室 「オペラの楽しみ方」	7. 3. 19	関西二期会副理事長 小餅谷哲男
	関西二期会オペラ研修所修了 公演 演目「ロジ・ファン・トゥッテ」	7. 3. 19	関西二期会オペラ研修所 第 60 期生 ほか

4 地域の関係機関との連携

(1) 尼崎市ティーンズサポート事業への参加

尼崎市が市内外の 10 代の青少年の舞台鑑賞を支援するため、低廉な入場料(500 円)で鑑賞機会を提供する「ティーンズサポート事業」に協力(12 名鑑賞)

(2) 日興油脂の劇場招待事業

日興油脂株式会社(尼崎市)の支援を得て、こども食堂を利用している地元尼崎市内の子どもたちをピッコロ劇団ファミリー劇場へ招待(47 名観劇)

(3) 兵庫県阪神南県民センターの劇場招待事業など

「青少年文化スポーツ体験事業」による招待

ピッコロ劇団ファミリー劇場(8 月)に親子ペアを招待(50 組 100 名観劇)

(4) やってみようプロジェクト(文化庁・日本劇団協議会事業)等の協力参加

地域団体(市／地域国際交流協会)が実施する地域在住の外国人等を対象としたやさしい日本語を使ったコミュニケーションワークショップ「ワークショップ にほんごであそぼう！」(ピッコロ劇団員がファシリテーター)を開催。

※小野市国際交流協会・小野市うるおい交流館エクラとの連携で開催

(2 回：計 63 名参加(うち外国人 25 名))

※加東市・加東市国際交流協会との連携で開催

(2 回：計 57 名参加(うち外国人 32 名))

・エデュケーションワークショップ「D I E コース in 関西」(再掲)をピッコロシアターが共催し、ピッコロ劇団員がアシスタント講師として参加(10 名参加)

5 動画配信

令和 6 年度は、公演情報や劇団員の様子を記す短い動画を X(旧ツイッター)に多数投稿するとともに、YouTube には以下の動画を配信した。

区 分	内 容
ピッコロ劇団公演第 80 回公演「宇宙に缶詰」	「宇宙に缶詰」プロモーションビデオ
シンポジウム「災害と演劇を考える～繋げる・繋がるために～」	シンポジウム全編

6 施設の管理運営事業

(1) 劇場施設の利用状況

「県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)」の指定管理者として、鑑賞劇場等の自主事業を実施するとともに施設の適切な管理と運営を行う。また、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術を創造しようとする県民にホールや練習室等を広く提供している。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 大ホール(客席数396席)／中ホール(収容200人)／小ホール(収容100人)
楽屋(6室)／練習室(3室)／資料室(閲覧室・書庫)／舞台美術工房等

【ホール等利用実績(6年度)】

利用者数 110,950人(前年度同期 98,616人)

利用率 92.0%(前年度同期 92.7%)

【利用状況】

区 分	利用者数(人)		利用率(%)	
	5年度	6年度	5年度	6年度
大ホール	46,391	46,603	93.8	94.5
中ホール	13,541	14,608	90.2	92.2
小ホール	16,844	17,382	93.2	90.6
練習室	12,065	16,463	93.1	91.5
閲覧室等(R3.1～)	8,810	14,866	—	—
書庫(R3.1～)	965	1,028	—	—
計	98,616	110,950	92.7	92.0

(注) 展示室及び資料室は令和元～2年度の大規模改修工事により閲覧室及び書庫にリニューアル。閲覧室及び書庫は令和3年1月より供用開始。

【利用料収入】

区 分		利用料収入(円、税込)	
		5年度	6年度
ホ ー ル 等	大ホール	6,857,800	6,786,800
	中ホール	1,757,800	1,897,050
	小ホール	2,372,500	2,501,750
	楽屋	857,800	858,500
	練習室	2,172,300	2,081,200
	ホール等計	14,018,200	14,125,300
附属設備		6,217,650	6,984,250
合 計		20,235,850	21,109,550

(参考) 近年実施した主な施設改修

《R6年度》

- ・火災受信機更新
- ・時計設備更新
- ・情報館機器更新
- ・事務所ネットワークサーバー更新
- ・正面玄関電子錠導入

《H29～R5 年度》

- ・旧喫茶室改修(R5)
- ・防犯カメラ及びAP追加(R5)
- ・事務室LED化(R5)
- ・敷地内高木剪定(R5)
- ・中ホールロビー空調修理(R5)
- ・大ホール音響室空調修理(R5)
- ・大ホール客席誘導灯修繕工事(R4)
- ・大ホールワイヤレスマイク設備更新(R4)
- ・中ホールスピーカー更新工事(R4)
- ・中小ホール搬入口重量シャッターの修理(R4)
- ・外部2階エントランス等防水工事(R4)
- ・ホール天井照明のLED化(R4)
- ・動画配信のためのWi-Fi整備(各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場)(R3)
- ・ホールのロスナイ(換気システム)の改修(R3)
- ・別館稽古場への換気設備改修(R2)
- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベーターを設置(R2)
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備(R1-2)
- ・ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上(R1-2)
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホールB1階に整備(R1)
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置(H29-R1)

(2) 情報の提供・発信

① 演劇等舞台芸術関係資料の提供

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、令和元年度に整備したピッコロシアター資料室(閲覧室・書庫)において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行うとともに、照会にも対応している。

【資料室(閲覧室・書庫)について】

- ・開室時間：10:00～18:00(資料の閲覧請求・貸出受付時間：13:00～17:00)
- ・1人3冊、2週間まで貸出
- ・蔵書検索システム(スマホ対応)・閲覧室内の検索システム端末などで資料を検索
《蔵書検索へのアクセス》<https://piccolo-library.opac.jp>
- ・閲覧室で自由に閲覧可能
- ・閲覧室には、高校演劇などの台本を設置(開架式)

	5年度	6年度
閲覧状況	327名	646名
貸出状況	164冊	319冊

② ホームページの運営

主催事業や劇団公演等をタイムリーに発信した。

【アクセス数】

5年度	6年度
65,584件	79,114件

※令和5年8～9月の間は、システムの切替に伴いアクセス数を計上できなかったため、件数が減少している。

③ SNSの活用

劇場や演劇学校の日々の動きや公演に向けた劇団員の稽古風景等を発信した。

- ・X(旧ツイッター)フォロワー数 1,647人(R7.3.31時点)
- ・フェイスブックフォロワー数 933人(R7.3.31時点)

④ 貸館予約システムの導入

令和5年度より、ホールや練習室の空き情報を常時ウェブサイト上で公開するとともに、練習室については、利用者登録をした後にウェブサイト上で仮押さえができる運営を行い、利便性の向上を図っている。

⑤ 定期刊行物の発行・配付

月間催し物案内（毎月）やピッコロ劇団後援会機関紙「into」（年4回、各2,000～4,000部程度）を発行し、来館者、近隣の公共施設や文化施設等に配付した。

⑥ 芸術文化情報コーナー

館内の2箇所に芸術文化情報コーナーを設置し、県内外施設の芸術文化関連のイベント、チラシや情報誌を配架することで来館者に情報提供した。

⑦ 広報媒体を通じた発信

- ・ 定期的なプレスリリース送付に加え、公演形態・稽古スケジュール等に応じた記者会見や稽古取材、個別インタビュー、新聞社訪問、劇団員等の在阪メディアへの出演を適宜実施した。
- ・ 地元FM局にピッコロシアター・ピッコロ劇団コーナーを運営。
FM尼崎「こちら、阪神南県民センターです」
（約2カ月に1回、劇場の事業紹介）
FM宝塚「ピッコロ劇団公演情報」（毎月第2木曜）
FM伊丹「お知らせコーナー」（毎月第3月曜）

7 その他、施設利用者の利便性向上への取組（収益事業）

- ・ 飲料自動販売機1台の設置（R6.4～）

〔本部の事業（概要）〕

芸術文化の普及・啓発

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

県の芸術文化の高揚を図るため、将来の活躍が期待される音楽家を対象とする「坂井時忠音楽賞」、功績のあった女性洋画家を対象とする「亀高文子記念—赤艸社賞」、地域の伝統文化の継承等に貢献した個人・団体を対象とする「ふるさと文化賞」などの表彰事業を実施した。

（２）コンクール、展示事業

県民の創作活動を後押し、世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進めるため、広く県民を対象とした「兵庫ふれあい美術展」等の公募展を開催した。新進美術家等に発表機会を提供するとともに、県民が気軽に良質の美術作品を鑑賞できる場として、県民アートギャラリー等において「作品展」を開催した。

（３）主催公演事業

子どもから大人まで優れた舞台芸術を身近で鑑賞でき、県内芸術団体等への活動機会を提供するため、小学校・高校や公立文化施設において「県民芸術劇場」を実施した（85公演）。また、新進音楽家等に発表機会を提供するとともに、県民が気軽に良質の舞台芸術を鑑賞できる場として、県民会館のほか県内文化施設等においてロビーコンサート、リサイタル等を開催した。

（４）講座・体験等事業

県民の高い学習意欲に応えるため、県立美術館、博物館、芸術文化団体等と連携・協力し、「兵庫県生活文化大学」を開催し、歴史、美術、音楽等の多彩な分野の講座を提供した（通年講座：8講座、短期講座：3講座）。

伝統文化の普及・継承を図るため、子どもから大人まで幅広い層の県民が伝統文化を体験できる「伝統文化体験教室」を実施した。

2 芸術文化団体等との連携事業

地域文化の向上・振興を図るため、7つの地域文化団体で構成される兵庫県地域文化団体協議会と連携し、各地域の特色を活かした事業の推進を支援した。各種イベント等を通じて県下に芸術文化のすそ野を広げるため、様々なジャンルの県域芸術文化団体や地域文化団体、市町等と連携・協力し、「ふれあい文化の祭典—県民文化普及事業」を展開した（23事業）。

県民の舞台芸術鑑賞機会を拡大するため、児童・生徒・学生が無料で鑑賞できるよう公演経費を支援する「舞台芸術鑑賞機会創出事業」を実施した。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

「ひょうごアーティストサロン」を県民会館に置き、芸術文化関係者の交流・連携、相談や情報発信等の機能を担わせた。新進・若手アーティストを対象とした美術作品展、ロビーコンサート、リサイタルの開催、アーティストサロン賞の贈呈などを行った。

4 情報の提供

県民の芸術文化への関心を高め参加を促すため、協会や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」の毎月発行、ホームページやSNSを活用して当協会主催イベントの情報発信などを行った。

5 本部事務局の移転

協会本部が56年間入居していた兵庫県民会館が耐震診断の結果、閉館することとなったことから、県民会館を離れハーバーランドの神戸新聞情報文化ビルに移転した。

〔本部の事業（評価）〕

1 主催事業

- (1) 「坂井時忠音楽賞」、「亀高文子記念一赤艸社賞」は、音楽や美術関係者からの評価は高く、アーティストが目指す賞として定着しており、受賞者にとって今後の大きな励みとなっている。「ふるさと文化賞」では、地域の文化を守り育ててきた方々を顕彰し広く情報発信するとともに、活動に取り組む意欲を高めている。
- (2) 「第 30 回兵庫ふれあい美術展」を公募により開催し、美術創作に親しむ県民に作品展示の機会を提供するとともに、分野や世代を超えた人々の美術を通じた交流の場とした（絵画、工芸、書など7分野。出品数 239 点、出品者年齢 17 歳～88 歳）。
県民会館で開催してきた「新進美術家作品展」等は、作家にとって貴重な発表の場となるとともに、県民が気軽に美術鑑賞できる場としての評価を得ることができた。
- (3) 「県民芸術劇場」は、新型コロナによる制約の緩和から、公演を希望する学校やホールが令和 5 年度よりも増加した（令和 5 年度:73→令和 6 年度:85）。県の事業改善レビュー意見を踏まえ実施した Web アンケートでは鑑賞した児童・生徒の約 94%から「良かった」との回答があった。
県民会館ほか県内文化施設等で、若手音楽家等によるコンサート、リサイタルを開催（計 21 公演）し、アーティストの活動機会を拡大させるとともに、県民が気軽に舞台芸術に触れる機会をつくることができた。
- (4) 「兵庫県生活文化大学」は、当初計画した通年 8 講座を開催することができた。講師には、第一線で活躍する研究者・実務者を依頼しており、「最新の研究成果が学べる。分かりやすく楽しい。」など好評を得ている。
「伝統文化体験教室」は、インスタグラムのストーリーズ等も含めた SNS 広告を行った結果、予定数以上の参加者を確保でき親子連れを含む多くの方に伝統文化の魅力を伝えることができた。「本物の能面、着物を手に取り見られてすごくよかった。初めて三味線が弾けてうれしかった。」などの感想が寄せられた。

2 芸術文化団体等との連携事業

「ふれあい文化の祭典―県民文化普及事業」は、県域又は地域の芸術文化団体、市町等の連携により県内各地で開催し、文化愛好者の成果発表や交流の場づくりに寄与した。参加者数は 2 万 6 千人で、今後も継続して開催支援に努める。
「舞台芸術鑑賞機会創出事業」では、鑑賞者の約 2 割にあたる人数の青少年を無料招待し、若者の鑑賞機会の拡大とともに県内アーティストの活動機会に貢献した。公演主催者からは「小学生も聴きにきてくれてアーティストの励みになった」「充実した伝統文化をお届けすることができた」などの感想が寄せられた。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

芸術文化コーディネーターを中心にネットワークをつくり、多様な分野の芸術文化関係者が交流・連携ができる場として機能している。発表の場としての展覧会・リサイタル等の企画・実施、ひょうごアーティストサロン賞の贈呈等は、新進・若手アーティストの育成や活動意欲の向上につながっている。

4 情報の提供

協会の各施設や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」を毎月発行した。引き続き、チラシ等の印刷媒体、ホームページや SNS など多様な方法を用いて、より多くの県民に芸術文化に関する情報が届くよう情報発信力の向上に努めていく。

5 本部事務局の移転

事務所移転のため 3 月 17 日から 20 日までの 4 日間、窓口業務等を休止したが、3 月 21 日から通常通りの業務を再開した。

○営業開始日：令和 7 年 3 月 21 日 ○移転登記日：令和 7 年 4 月 1 日

【県民会館の利用停止等による影響と対応】

事業拠点としていた県民会館が、耐震診断の結果、10 月末をもって利用停止となり、生活文化大学等は会場を変更して継続したものの、アーティストサロンやギャラリー、ホールで開催していた新進美術家作品展やロビーコンサート等は実施回数減となった。

〔本部の事業（詳細）〕

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

① 第４３回ふるさと文化賞

地域社会において、永年にわたりひたむきな努力を続け、伝統文化の継承に貢献するなど、その活動と功績が著しい１個人２団体に贈呈した。

【贈呈式】 令和７年１月２８日

【会 場】 こうべまちづくり会館

【受賞者】 竹村 重雄 （邦楽、文化振興・丹波市）
契沖の会 （遺徳の顕彰、短歌振興・尼崎市）
宇原岩田神社奉納獅子舞保存会 （伝統芸能・宍粟市）

② 亀高文子記念^{せきそうしや}赤艸社賞

絵画の創作活動を通じて県民文化の高揚に功績があった女流洋画家に贈呈した。

【贈呈式】 令和７年２月１２日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【受賞者】 中山 明日香（川西市）

③ 坂井時忠音楽賞

県内において音楽活動に優れた業績をあげ、将来の活躍が期待される音楽家を奨励するため贈呈した。

【贈呈式】 令和７年２月１２日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【受賞者】 北村 陽（チェロ・西宮市）

④ ひょうごアーティストサロン賞（アーティストサロン事業）

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手アーティストに贈呈した。

【贈呈式】 令和７年３月５日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【受賞者】 〈アーティスト部門〉 福嶋 令奈（ヴァイオリン・西宮市）
上前 功夫（工芸（ガラス）・宝塚市）
〈協力者部門〉 該当なし

（２）コンクール、展示事業

① 第３０回兵庫ふれあい美術展

県内の美術愛好家から日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・鈴懸の径絵画（兵庫の風物又は花をテーマとした洋画または日本画の小品）作品を公募し、全ての応募作品を展示するとともに、優秀な作品に知事賞等を贈呈した。

【会 期】 令和６年１２月１９日～２２日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【出品数】 ２３９点

【入場者】 １，３０２人

② ２０２４県展

県内に生活し、日頃から美術作品の制作活動に励んでいる方を対象に、絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、入選作品の展示を行い、優秀な作品には県展大賞等を贈呈した。

【会 期】 令和６年８月３日～１７日

【会 場】 原田の森ギャラリー ２階大展示室

【応募数】 583点（入選作品201点）
 【入場者】 2,465人
 【共 催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

③ 新進美術家作品展（アーティストサロン事業）

県内各美術団体の協力を得て、新進作家を中心とした作品展を開催した。

・ひょうごアーティストサロン内

事業名	開催年月日	出展人数（人）	入場者（人）
兵庫二紀会選抜展	6. 4. 1～5. 31	2	273
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	6. 6. 1～7. 30	18	364
兵庫県美術家同盟新進作家選抜展	6. 8. 2～9. 30	12	356
合 計	100日	32	993

・兵庫県民アートギャラリー特別展示室

事業名	開催年月日	出展人数（人）	入場者（人）
兵庫県写真作家協会 特別展	6. 9. 18～22	39	603

・原田の森ギャラリー本館2F大展示室

事業名	開催年月日	出展人数（人）	入場者（人）
兵庫県美術作家交流展 ※兵庫ふれあい美術展と併催	6. 12. 19～22	19	1,082

（３）主催公演事業

① 県民芸術劇場

小学生・高校生、一般県民が優れた舞台芸術を身近に鑑賞し、県内芸術団体等が活動する機会として県民芸術劇場を開催した。

また、新規登録団体の公募、学校公演を鑑賞した児童・生徒へのアンケート実施等を通じて、事業の更なる普及に努めた。

種 別		6 年 度		協会支出額（千円）	
公演ジャンル		公 演 数	入 場 者 数	6 年 度	5 年 度
一般公演		11	3, 173	5,516	7,976
演 劇		4	957		
音 楽		7	2, 216		
高等学校公演		26	17, 344	11,238	9,044
舞 踊		1	540		
演 劇		14	9, 601		
伝統芸能		5	3, 312		
音 楽		6	3, 891		
小学校公演		48	19, 644	9,716	8,200
演 劇		16	7, 574		
伝統芸能		4	1, 354		
音 楽		28	10, 716		
合 計		85	40, 161	26, 470	25, 220

（注）中学校公演は、全ての県内中学生を対象に「わくわくオーケストラ教室」等を実施していることから、県民芸術劇場の対象外としている。

② 県民会館ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館のロビーを活用した新進・若手アーティスト等のコンサートを開催し、活動発表の場を提供した。

公 演 名	開催年月日	入場者（人）
土屋友成ピアノコンサート	6. 4. 13	102
中谷彩花ピアノコンサート	6. 5. 11	73
坂茉莉江ヴァイオリンコンサート	6. 6. 8	91
井上由貴奈ピアノコンサート	6. 7. 13	89
南なつみサクソフォンコンサート	6. 8. 24	79
県立西宮高等学校音楽科４１期生によるアンサンブルコンサート	6. 9. 14	81
ありがとう兵庫県民会館	6. 10. 26	123
合 計 7公演		638

③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

県内の新進・若手アーティストの活動の場の拡大を目指し、会場を県民会館から県内の芸術文化施設等に広げて実施した。

公演名・会場名	開催年月日	出演者	入場者（人）
西脇市立音楽ホール「アピカホール」第１回 Stella☆Apika サロンコンサート	6. 7. 7	中西修也（ピアノ） 大西隆弘（ピアノ） 高木美香（ピアノ）	48
アクリエひめじ ピアニスト坂本彩が織りなす プッチーニの世界	6. 7. 20	坂本彩（ピアノ）	90
坂茉莉江ヴァイオリンの調べ 【世良美術館】	6. 10. 19	坂茉莉江（ヴァイオリン）	35
ケアでつながるオープンデー @ぶんぱく 【明石市立文化博物館】	6. 11. 4	小松加奈（マリンバ） 山本葉菜子（マリンバ）	96
こうこはくロビーコンサート 博物館の秋を楽しむコンサート 【兵庫県立考古博物館】	6. 11. 9	植村翔馬（クラリネット） 遠藤優美（ピアノ）	56
Lobby Concert 坂本彩ピアノコンサート 【西宮市山口ホール】	6. 12. 19	坂本彩（ピアノ）	82
ITAMI クリスマスロビーコンサート 【東りいたみホール】	6. 12. 19	小原彩乃（ハーブ）	110
磯辺陽ヴァイオリンミニコンサート～チェコの響き、大陸への歴懂～ 【芦屋市立美術博物館】	7. 1. 19	磯辺陽（ヴァイオリン） 猪瀬千裕（ピアノ）	49
田平莉子フルートコンサート 【西脇市茜が丘複合施設 Miraie ビューループ】	7. 3. 16	田平莉子（フルート） 妹尾怜奈（ピアノ）	70
合 計 9公演			636

④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館けんみんホールを利用し、「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」を開催した。

あわせて兵庫県いけばな協会の協力により舞台にいけばなを添えて鑑賞者に対して芸術文化に親しむ環境の充実を図った。

事業実施にあたっては、出演者にリサイタルの企画から実施までのマネジメントを自ら経験させ、今後演奏家としての実務に役立てられるよう支援を行った。

公 演 名	開催年月日	いけばな	入場者（人）
藤田菜央ピアノリサイタル	6. 4. 19	熊原恵甫（未生真流）	91
三浦夏実ピアノリサイタル	6. 5. 17	松井博士（小原流）	142
北村明日人ピアノリサイタル	6. 6. 28	伊藤洸明（御室流）	120
吉見真帆ソプラノリサイタル	6. 7. 19	末道良甫（嵯峨御流）	180
屋野晴香ピアノリサイタル	6. 9. 13	加藤美千代（池坊）	62
合 計 5公演			595

※深井千聡ピアノリサイタル(6. 8.30)は、台風接近のため中止

（４）講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに夢と潤いのある生活文化を創り育てるため、県立美術館、歴史博物館、考古博物館等に講師を依頼するなど、県や芸術文化団体と連携しながら最新の研究成果が学べる講座として、兵庫県生活文化大学を開催した。

【通年講座】

講 座 名		開催地	会 場	期間(回数)	通年受講 申 込 者 (実人)	年間受講者 (人)
神戸校	文化財 (県立美術館「芸術の館友の会」)	神戸市 ほか	兵庫県民会館 ほか	4～2月(8)	38	311
	考古学 (県立考古博物館)			4～2月(8)	50	407
	西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月(8)	59	462
	日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月(8)	55	431
	ふるさとの歴史 (ひょうご歴史研究室)			4～2月(8)	58	456
	音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)			4～2月(8)	65	734
明石校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	明石市	明石市生涯学習センター	4～2月(8)	51	425
姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市	兵庫県立歴史博物館ほか	4～2月(8)	48	397
合 計		8 講座		64回	424	3,623

※講座名欄の()は共催団体等

【短期講座】

講 座 名	開催地	会 場	期間(回数)	受講者 (人)
伝統芸能講座 文楽の世界 「文楽 in Hyogo『平家女護 島 鬼界が島の段』」	神戸市 西宮市	兵庫県民会館 兵庫県立芸術文化セン ター	6月(2)	46
展覧会特別鑑賞講座 兵庫県 立美術館 阪神・淡路大震災 30年企画展「1995⇄2025 30 年目のわたしたち」	神戸市	兵庫県立美術館	1月(1)	10
谷口義子先生と歩く 阪神間 モダニズム建築を訪ねる～旧 甲子園ホテルから旧大庄村役 場へ	西宮市 尼崎市	武庫川女子大学甲子園 会館 大庄南生涯学習プラザ ほか	12月(1)	19
合 計 3講座			4回	75

② 風土と文化の歴史学

田辺真人園田学園女子大学名誉教授を講師に迎えて開催。昨年度に続いて、われわれを取り巻く自然環境「風土」と、それが生み出した「文化」について、「川」をテーマに考察した。

【開催日】 令和6年7月18日、8月8日、9月19日（3回）

【会 場】 兵庫県民会館 けんみんホール

【講 師】 田辺 真人氏（園田学園女子大学名誉教授）

【受講者数】 645人

③ 伝統文化体験教室

関係文化団体等との共催で、体験教室を開催することにより、県民が伝統文化に触れる機会を提供した。

【時 期】 令和6年6月～9月

【回 数】 6回

【会 場】 兵庫県民会館・兵庫県公館和風会議室・夙川能舞台 瓦照苑

【参加団体】 兵庫県いけばな協会ほか3団体

教 室 (回数)	共 催 団 体	参加者(人)
いけばなのススメ (2)	兵庫県いけばな協会	39
能楽のススメ (1)	公益社団法人能楽協会神戸支部	24
三味線のススメ (2)	日本民謡・民舞兵庫県連合会	34
長唄のススメ (1)	玄友会	13
合 計	4分野 (6回)	110

④ 友の会会員事業の推進

芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいをづくりと相互の交流を図るため、友の会会員を対象とした事業を推進した。

	個人会員	ファミリー会員	団体会員
友の会会費	1口 3,000円	1口 5,000円	1口 10,000円
会 員 数	605人	64人 (32組)	37団体

【特 典】・文化情報紙「すずかけ」の送付（毎月）

- ・研修事業への参加・兵庫県生活文化大学等の受講料等の割引
- ・指定美術館・博物館等の入館料割引
- ・提携ホールのチケット料金やホテルの利用料金等の優待

2 芸術文化団体等との連携事業

(1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

地域文化の向上と振興に貢献することを目的とする兵庫県地域文化団体協議会の事務局を担当し、県内7地域で活動する地域文化団体との連携を深めた。

【兵庫県地域文化団体協議会構成団体】

- ・阪神南文化振興団体連絡協議会
- ・阪神北文化振興団体連絡協議会
- ・東播磨文化団体連合会
- ・西播磨文化協会連絡協議会
- ・但馬文化協会
- ・丹波文化団体協議会
- ・淡路文化団体連絡協議会
- ・公益財団法人兵庫県芸術文化協会

① 地域文化団体との共同事業 *

兵庫県地域文化団体協議会が、各地域において地域の核となる文化団体協議会等と共同で文化事業を実施した。

文化団体名	事業名	開催年月日等
阪神南文化振興団体連絡協議会	尼崎藩青山氏と尼崎城を語る -時代小説、まちづくり、歴史研究-と茶道を愉（たの）しむ	6. 10. 19 (会場：尼崎市中小企業センター)
阪神北文化振興団体連絡協議会	阪神北地域活動団体出演・出展 支援事業	7. 2. 9 (会場：宝塚市立中央公民館)
東播磨文化団体連合会	文芸誌「東はりま文化子午線第48号」の発行	7年3月発行
西播磨文化協会連絡協議会	西播磨地域ふれあい文化交流会	6. 11. 20 (会場：市川町文化センター)
但馬文化協会	但馬文学のつどいつどい 「-短詩型文学-たじま作品集」 第49集の発行	7年3月発行
丹波文化団体協議会	令和6年度丹波地域文化フェスティバル	6. 8. 3 (会場：丹波の森公苑)
淡路文化団体連絡協議会	淡路文化の祭りとふるさと文化の交流 第43回全淡短歌祭 第48回淡路島俳句大会 第46回淡路文学作品展	6. 9. 28 6. 11. 10 6. 11. 27～12. 5 (会場：洲本市立淡路文化史料館ほか)

② 地域文化を考えるシンポジウム

地域文化の活性化を図るため、丹波地域に県内市町文化協会・団体の会員が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行った。

【開催日】 令和6年10月31日

【会場】 丹波の森公苑 ホール

【主催】 丹波文化団体協議会、兵庫県地域文化団体協議会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会

【テーマ】 地域づくりと文化活動

【内 容】 オープニングの風舞流曲技太鼓からはじまり、前半は「地域づくりと文化活動～街角コンサートの取組をとおして～」と題して丹波の森国際音楽祭シューベルティア・テたんば音楽監督の畑儀文氏による講演を実施。後半は動画放映と活動報告等により丹波地域の伝統文化を紹介した後、質疑応答を実施。エンディングにはデカンショ踊りを披露した。

【参加者】 県内各地文化関係者 3 0 4 人

（２）ふれあい文化の祭典－県民文化普及事業 ＊

県内全域に文化のすそ野を拡大していくため、県域又は地域の芸術文化団体、開催市町とともに実行委員会を立ち上げ、広報宣伝・観客誘致等を行った。

事 業 名	開催年月日	会 場	参加者（人）
日本の文化体験フェスティバル	6. 8. 3	丹波市	431
ひょうご民族芸能祭 in 高砂市	6. 9. 8	高砂市	430
ひょうご日本民謡フェスティバル	6. 9. 15	神戸市	600
アンサンブル・フェスティバル兵庫	6. 9. 15	西宮市	479
ひょうご邦楽の祭典	6. 9. 15	西宮市	487
兵庫県交響楽祭	6. 9. 22	小野市	627
ひょうごブラスフェスティバル	6. 9. 22	西宮市	2, 650
和太鼓フェスティバル in 兵庫	6. 9. 29	丹波篠山市	1, 016
ひょうご名流舞踊の会	6. 10. 6	神戸市	1, 089
詩のフェスタひょうご	6. 10. 6	神戸市	93
ひょうご大茶会	6. 10. 26	神戸市	843
ひょうご吟剣詩舞道祭	6. 10. 27	明石市	600
兵庫短歌祭	6. 11. 2	神戸市	245
ひょうご洋舞フェスティバル	6. 11. 3	西宮市	726
音楽とダンスの祭典 inHyogo	6. 11. 4	神戸市	721
兵庫県いけばな展（地域・神戸）	6. 11. 10	神戸市 川西市	9, 949
兵庫県川柳祭	6. 11. 24	神戸市	405
第 36 回全国手工芸美展 in ひょうご	6. 11.15～17	神戸市	2, 385
西播磨文化フェスティバル	6. 12.15	佐用町	354
兵庫ふれあい美術展	6. 12. 20～22	神戸市	1, 302
ひょうご演劇祭	7. 1. 23	尼崎市	324
東播磨文化フェスティバル	7. 3. 8	加東市	328
合 計			26, 084

（注）＊印（２事業）は、「正味財産増減計算書内訳表」において「収益事業等会計」中の「その他の事業（芸術文化団体との連携事業）」に分類する事業

（３）舞台芸術鑑賞機会創出事業

新型コロナウイルス感染症により減少した子どもの舞台鑑賞機会や県内アーティストの活動機会を提供するため、県内文化施設等において実施される音楽・演劇等で、一定の座席数を児童・生徒・学生（小、中、高校、大学生等）向けの無料席とする公演の経費を支援した。

- 【助成件数】 36件
【助成内容】 演劇、マリンバコンサート、県内落語家による名人寄席 等
【助成金額】 13,638千円（助成率1／2・上限500千円）
【鑑賞者数】 7,504人
【うち学生等（無料）】 1,509人

（４）芸術文化団体等の事業への支援

芸術文化団体等が主催する文化振興事業に対し、後援、協賛するとともに、優秀作品に「兵庫県芸術文化協会賞」を贈った。

- 【後援事業件数】 225件
【協会賞交付件数】 68件

（５）兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される懇話会の事務局運営等を支援し、芸術文化の振興を図った。

３ ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

（１）芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用され、交流の拠点としてサロン機能を発揮した。

- 【来場者数】 2,253人

（２）相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する企画・PR方法等、様々な相談に応じた。

- 【相談件数】 242件
【さわやかステージ斡旋件数】 7件

（３）若手アーティストの育成・支援

- ① 新進美術家作品展（再掲）
- ② 県民会館ロビーコンサート（再掲）
- ③ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）
- ④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイクルシリーズ（再掲）

４ 情報の提供

（１）文化情報紙「すずかけ」の発行

生活文化大学をはじめとする当協会主催事業や芸術文化団体主催事業など、芸術文化に関する情報を発信した。

- 【仕様】 タブロイド版、4ページ、外面4色刷り、内面単色刷り
【発行】 毎月1回 各5,000部
【内容】 ・生活文化大学やリサイクル等の主催事業、県内の芸術文化事業
・芸術文化センター事業、ピッコロシアター事業、王子分館事業
・友の会（おすすすめスポット）たずね歩き
友の会の特典提携をしている文化施設とその周辺の文化資源を紹介
・各種文化情報

（２）文化情報の提供

兵庫県民会館に、文化情報紙、県内施設等の催し物案内チラシ等を配架し、多彩な文化情報を提供した。

(3) ホームページの運営 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

協会概要や本部事業、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介した。

【内 容】・協会概要

- ・事業案内（協会主催事業等）
- ・管理施設へのリンク

【アクセス数】68,276件（令和6年4月～令和7年3月）

(4) その他多面的な広報活動

① SNSの運営

兵庫県に関係の深い新進・若手アーティスト等の発表の場の創出と鑑賞機会の提供を目的として、YouTube チャンネルにおいて、アーティストの動画作品 118 本及び県民芸術劇場登録団体PR動画 91 本を配信した。X(旧 Twitter)、Facebook、Instagram を活用して、兵庫県生活文化大学等の各種講座や展覧会、コンサート等のイベント情報等を発信した。

- ・YouTube チャンネル登録者数 3,990人 (R7.3.31時点)
- ・X(旧 Twitter) フォロワー数 636人 (〃)
- ・Facebook フォロワー数 376人 (〃)
- ・Instagram フォロワー数 864人 (〃)

② マスメディア等による情報提供

- ・テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配付など

③ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等事業を共催している施設と連携してPRしたほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行った。

【県民会館の利用停止等による影響と対応】

協会本部が事業展開の拠点としていた県民会館が、耐震診断の結果、10 月末をもって利用停止となり、生活文化大学等は会場を変更して継続したものの、アーティストサロンやギャラリーで開催していた新進美術家作品展やロビーコンサート等は開催できなかった。

事業名	R 5	R 6
ふるさと文化賞贈呈式	県民会館	こうべまちづくり会館
亀高文子記念一赤艸社 賞贈呈式	県民会館	原田の森ギャラリー
坂井時忠音楽賞贈呈式	県民会館	原田の森ギャラリー
ひょうごアーティスト サロン賞贈呈式	県民会館	原田の森ギャラリー
新進美術家作品展 サロン内展示	県民会館（サロン） 6 事業	県民会館（サロン） 3 事業、10 月以降なし
新進美術家作品展 特別展	県民会館特別展示室 2 事業	県民会館特別展示室 1 事業
県民会館ロビーコンサ ート	県民会館 8 公演	県民会館 7 公演 11 月以降なし
新進芸術家育成プロジ ェクト・リサイタルシ リーズ	県民会館 7 公演	県民会館 5 公演 10 月以降なし

事業名	R 5	R 6
兵庫県生活文化大学 神戸校	県民会館 6 講座各 10 回	神戸校 6 講座各 8 回 9 月まで県民会館を利用し、10 月以降は別施設で実施 県民会館 (30 回) 神戸市教育会館 (11 回) 兵庫県学校厚生会館 (2 回) 中央区文化センター (3 回) 現地講座 (2 回)
ひょうごアーティストサロン来場者数	3,607 人	2,253 人

※事業数および公演数の減は、移転に伴う県民会館利用不可及び移転に伴う業務増を考慮したため

〔県立美術館王子分館の管理・運営（概要）〕

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1）貸しギャラリーの適正な運営

地域のプロ・アマチュア芸術家、芸術文化団体の作品発表の場として、また、県民がさまざまな芸術文化に触れ、交流する場となるよう、ギャラリー運営会議の助言を得ながら、ギャラリーの適正で、効率的な運営に努めた。

【来館者数】 146,499人 【展示室の利用率】 91.8%

（2）ギャラリーの利便性向上

展示パネル、展示台の貼替、損傷したワイヤーの入替など、利用者が心地よく利用できるよう定期的に修理やメンテナンスを行った。また、安全安心な利用環境を維持するため、高所作業台の点検、東館加湿器の整備など必要な修繕を行った。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（1）横尾作品を中心とした展覧会

横尾忠則氏が繰り返し描いてきた寒山拾得シリーズの最新の成果を紹介する「横尾忠則 寒山百得展」など3つの展覧会のほか、「横尾忠則コレクションギャラリー」では、同氏所蔵の作品を展示した。

【来館者数】 51,573人 【展覧会の入場者数】 30,142人 ※①

① 横尾忠則 寒山百得展

期 間：令和6年5月25日（土）～8月25日（日）（80日）

入場者数：10,590人

② レクイエム 猫と肖像と一人の画家

（同時開催：Yokoo Tadanori Collection Gallery 2024）

期 間：令和6年9月14日（土）～12月15日（日）（80日）

入場者数：8,911人

③ 横尾忠則の人生スゴロク展

（同時開催：Yokoo Tadanori Collection Gallery 「横尾忠則を遊ぶ」）

期 間：令和7年1月17日（土）～5月6日（火・祝）（95日）

入場者数：5,765人（令和7年3月末時点） ※全期間 9,919人

（2）アーカイブ資料の整理・公開

横尾氏から受け入れているデザイン原稿、書籍等の整理を進め、順次「アーカイブ資料リスト」として公開した。（整理済 10,523点、ウェブ公開リスト 4,146点）

（3）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供する「ひょうごプレミアム芸術デー」を実施した。

期 間 7月9日～15日（無料開放7日間、入場者 1,919人）

主な内容 大江千里ミニライブ（7月13日）

自由に話せる観覧日（7月14日） ※毎月実施

（4）美術館の魅力や情報の発信

来館者数の増加に向け各種のイベントの開催のほか、横尾作品の魅力や展覧会情報等を様々なツールを活用して発信した。

〈主な取組〉

- ・オープンスタジオコンサート（4回、参加者 431人）
- ・キュレーターズ・トークと同動画のYouTube配信（参加・視聴 12,916人・回）
- ・SNS広告（Facebook, Instagram）による発信（ホームページ誘導 18,430回）
- ・アート系インスタグラマーと連携した情報発信

※① 展覧会入場者には R5 実施「ワイ！★Y字路」R6.4.1～5.6 入場者数 4,876人も含む。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（評価）〕

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（１）施設の利用状況

令和6年度のギャラリーの利用率、来館者数はともに前年度を上回り、コロナ前の水準までほぼ回復した。また、施設利用料収入は、平成14年のオープン以来、過去2番目の売上高となった。

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
利用 率	89.4%	48.3%	80.5%	89.4%	91.5%	91.8%
来館者数	149 千人	54 千人	101 千人	132 千人	132 千人	147 千人

（２）利用者からの評価

展示室利用者を対象としたアンケート調査において、「利用の申込方法」と「職員の応対」に関する質問では、全ての回答が「非常に満足」又は「満足」と評価された。利用者からは「広く、明るく、落ち着いた雰囲気」「スタッフの対応が大変良かった」との声が多かった。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（１）横尾作品を中心とした展覧会

前年秋に東京国立博物館で開催され話題になった「寒山百得展」の巡回展や、横尾氏に影響を与えた人々の肖像画や交流の記録を取り上げた「レクイエム」展など趣向を凝らした展覧会により、前年度より減少したものの入場者数が約3万人を上回るなど、横尾芸術の多彩な魅力を紹介・発信できた。

（２）アーカイブ資料等の活用

アーカイブ資料は、適宜展覧会で活用しており、特に「レクイエム」展では、横尾氏の交流の記録を示す資料等を多数展示し、横尾氏のこれまでの歩みへの理解を深める機会となった。また、外部の美術館関係者や研究者の依頼に応じて閲覧等に供するなど、横尾芸術の研究等に寄与できた。

（３）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

展覧会の無料開放期間には、通常の約3倍の入場者（7日間で1,919人）があり、横尾作品の魅力に触れていただく機会となった。また、大江千里氏によるライブには多くの反響があり、横尾忠則現代美術館の活動を全国へ発信することができた。

（４）美術館の魅力や情報の発信

従来からのポスター等の広報やイベントに加え、新型コロナを契機に始めた「キュレーターズ・トーク」のYouTube発信やSNS広告により、美術館及び展覧会の魅力をより広く発信できたことが、展覧会の集客に一定の効果があつたと考えられる。

本年4月から開催の2025大阪・関西万博を見据えた、国内はもとよりインバウンドの来館者も獲得するため、日本語・英語併記のリーフレットの作成や、SNS等の活用や他館との連携による効率的、広範囲な情報発信に取り組んだ。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（詳細）〕

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館において展覧会やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信や情報収集を行った。また、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家の発表の場としての役割を果たすよう管理・運営に努めた。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉 本館（1・2階展示室）、東館（1・2階展示室）、会議室等（5室）
 〈横尾忠則現代美術館〉 アーカイブルーム、展示室（2・3階）、コレクションギャラリー、休憩・交流スペース
 オープンスタジオ、ミュージアムショップ、インフォメーション
 〈喫茶棟〉
 〈附属駐車場〉 31台

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1）貸しギャラリー等の実施

公立美術館としては全国最大規模となる貸しギャラリーや実技教室を活用した洋画・日本画・書道・彫塑等の作品発表、並びに絵画教室等が開催されたとともに、造形芸術の活動・交流・情報発信拠点づくり及び創作活動の発表の場づくりに努めた。

【来館者数】 146,499人

【利用状況】 *（ ）内 対前年比

施設名	室数等	開館日数	利用日数	利用率等
展示室	4室	1,224日	1,124日（100.7%）	91.8%（100.3%）
会議室等	5室	1,530日	1,014日（104.8%）	66.3%（104.4%）
駐車場	31台	306日	306日（100.0%）	15,762台（102.0%）

【利用料収入状況】 *（ ）内 対前年比

区 分	金 額	区 分	金 額
展示室	22,464,750円（101.2%）	附属設備	530,795円（121.8%）
会議室等	6,340,505円（108.1%）	駐車場	8,650,000円（105.3%）
収蔵庫	6,187,700円（101.6%）	利便施設	541,611円（104.0%）
		合 計	44,715,361円（103.2%）

（2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議を開催し、貸出計画案の承認を得た。令和6年度については、令和7年4月から令和9年3月までの利用調整のため、3回の運営会議を開催した。

第1回運営会議 令和6年5月16日／第2回運営会議 令和6年9月18日

第3回運営会議 令和7年2月6日

（3）情報の提供・広報

① ホームページの運営（<https://hyogo-arts.or.jp/harada>）

【内 容】施設概要、利用案内、空室情報、展覧会案内 等

② 催し物案内の配布

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

令和6年度は、横尾忠則氏の作品等が鑑賞できる展覧会を3本開催したほか、美術館4階に整備した「横尾忠則コレクションギャラリー」において、横尾氏が収集し、影響を受けた世界の著名作家の作品を展示した。

【来館者数】51,573人 【展覧会の入場者数】30,142人 ※①

(1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	横尾忠則 寒山百得展
開催期間（日数）	令和6年5月25日(土)～8月25日(日) (80日)
入場者数（人）	10,590人（うち有料入場者6,437人、有料入場率60.8%）
展示内容	2019年より繰り返し描いてきた寒山拾得シリーズの最新作を紹介する展覧会。2023年秋に東京国立博物館で開催されて好評だった展覧会の巡回展で、東京国立博物館所蔵の他作家の寒山拾得作品をパネルにして展示した。 【出品点数：約102点】

展覧会名	レクイエム 猫と肖像と一人の画家
開催期間（日数）	令和6年9月14日(土)～12月15日(日) (80日)
入場者数（人）	8,911人（うち有料入場者6,488人、有料入場率72.8%）
展示内容	亡き愛猫タマを偲んで描き続けた「タマ、帰っておいで」シリーズ、三島由紀夫や柴田錬三郎など交流のあった人々にまつわる作品や肖像を中心に、彼岸へ旅立った者たちへ向けた横尾の視点を絵画と資料で振り返った。 【出品点数：約350点】
同時開催	Yokoo Tadanori Collection Gallery 2024 〔横尾と交流のあったアンディ・ウォーホルを特集。ウォーホルの作品と横尾氏の連作「A. W. Mandala」を展示した。〕

展覧会名	横尾忠則の人生スゴロク展
開催期間（日数）	令和7年1月17日(金)～5月6日(火・振休) (95日)
入場者数（人）	5,765人（3月末時点の人数。うち有料入場者4,429人、有料入場率76.8%） ※全期間 9,919人
展示内容	展覧会場を横尾忠則の人生をモチーフにしたスゴロクに見立てた親しみやすい入門編的な展覧会。実際にスゴロクで遊びながら作品を見て回ることもでき、なすがままに運命を受け入れてきた横尾の生き方のメタファーであると同時に、遊びながら横尾芸術に親しんでもらう試みでもあった。 【出品点数：71点】
同時開催	Yokoo Tadanori Collection Gallery「横尾忠則を遊ぶ」 〔スゴロク、花札、麻雀、百人一首、トランプ、ジクソーパズルなど「遊び」と関連した作品・資料31点を紹介した。〕 Yokoo 1995 - 阪神・淡路大震災30年 〔横尾忠則はチャリティー・ポスターの企画に参加するなど、アーティストの立場から震災復興に尽力。当時の活動を伝える作品（複製）を展示するとともに、震災の記憶を語る横尾のインタビュー動画を放映。〕

※① 展覧会入場者にはR5実施「ワイ！★Y字路」R6.4.1～5.6入場者数4,876人も含む。

(2) 貴重なアーカイブ資料の整理と公開

横尾氏から寄託されたイラストやポスター、デザイン原稿をはじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品などのアーカイブ資料について、順次、整理・公開した。

また、資料整理をより円滑に行うため、博学連携として、県内の大学から博物館実習生やインターン生を受け入れた。

① 整 理

(ア) 整理済み資料 10,523 点（うちウェブサイト公開 4,146 点）＊個人情報を含む資料は除外

(イ) 実習生等の受入れ

- ・博物館実習生：神戸学院大学、神戸大学ほか 13 校から 18 名
- ・インターン生：神戸芸術工科大学 3 名

② 公開等

(ア) 整理済み資料については閲覧可能（無料、要予約、個人への貸出不可）

- ・これまでの利用実績：104 件（美術館関係者、研究者、学生等）

(イ) 企画展等での展示

(3) オープンスタジオを活用した多彩なイベントの実施

① 企画展関連事業

楽しく鑑賞できるよう見どころを学芸員が分かりやすく解説するキュレーターズ・トークを展覧会ごとに実施したほか、来館を促し集客につなげるため、その映像をホームページで公開した（YouTube 配信）。これらの動画は、1 階オープンスタジオでも常時放映しており、作品鑑賞前後の来館者によく視聴され、好評である。

また、現在はジャズピアニストとして活躍し、横尾氏と交流のある大江千里氏が「原郷の森」の展示を背景にピアノ演奏を行い、その映像も配信している。

〔横尾忠則 寒山百得展〕

（令和 7 年 3 月末時点）

事業名	開催・配信日	出演者・講師	参加者数
キュレーターズ・トーク	R6. 6. 29 7. 15 8. 10	当館学芸員	138 人
PR 動画	R6. 6. 20～	同 上	視聴数 941 回
ギャラリートーク動画	R6. 6. 20～	同 上	視聴数 3,068 回
講演会 「横尾忠則の寒山百得について」	R6. 7. 27	埼玉県立 近代美術館長 建畠 哲	46 人
計			4,193 人・回 (うちオンライン 4,009 回)

〔レクイエム 猫と肖像と一人の画家〕

（令和 7 年 3 月末時点）

事業名	開催・配信日	出演者・講師	参加者数
ギャラリーツアー	R6. 11. 10 12. 8	当館学芸員	44 人
キュレーターズ・トーク	R6. 10. 26 11. 30	同 上	66 人
PR 動画	R6. 11. 1～	同 上	視聴数 691 回
ギャラリートーク動画	R6. 10. 17～	同 上	視聴数 1,629 回
計			2,430 人・回 (うちオンライン 2,320 回)

〔横尾忠則の人生スゴロク展〕

(令和7年3月末時点)

事業名	開催・配信日	出演者・講師	参加者数
キュレーターズ・トーク	R7. 2. 15 3. 15 4. 19	当館学芸員	99 人
PR 動画	R7. 2. 7～	同 上	視聴数 1,134 回
ギャラリートーク動画	R7. 2. 7～	同 上	視聴数 3,715 回
阪神・淡路大震災と横尾忠則動画	R7. 1. 17～	横尾忠則	視聴数 1,345 回
計			6,293 人・回 (うちオンライン 6,194 回)

② オープンスタジオコンサート等（当館1階）

地域のにぎわいづくりと、当館の新たなファン層の拡大をめざし、4つのコンサートを開催した。

イベント名	開催日	出演者	参加者数
寒山百得 二胡聴いとく？ ～二胡とピアノの演奏会～	R6. 6. 22	木村 ハルヨ 足立 知謙	123人
Ayuoコンサート 「愛しきものたちへ」	R6. 10. 5	Ayuo 軸原 ヨウスケ	58名
1 DAY JAZZ ROAD Unit Tre JAZZ STAGE	R6. 10. 19	角家 道子 河村 孝彦 鷺見 和広	140人
嶽崎あき子弦楽四重奏団 「シヨスタコーヴィチ チクルス」 コンサート	R7. 3. 1	嶽崎あき子 弦楽四重奏団	110人
計			431 人

（４）作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料を良好な状態で保存するため、劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努めた。修復に際しては、作品のオリジナル性を熟慮したうえで作品の現状維持修復を原則に必要な最小限度の修復処置を心がけるとともに、電気製品を用いた作品やその他ミクストメディア作品については、各分野の専門家と協力し多角的な視点で修復に取り組んだ。

（５）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

令和4年度から芸術文化を気軽に楽しめる機会として、県立芸術文化施設を無料開放する「ひょうごプレミアム芸術デー」が設定され、当館でも実施した。

期 間：令和6年7月9日（火）～15日（月・祝）（7日間）

内 容：① 展覧会の無料開放（展示入場者数 1,919人）

② 自由に話せる観覧日（7月14日） ※毎月設定

③ 特別イベント「大江千里ミニライブ@Y+T MOCA(R6. 7. 16)」

(6) 連携によるにぎわいづくり

① 地域との連携

(ア) 地域住民・商店街等との連携

- ・ 駅、商店街等へのポスターやチラシの配布
- ・ 地元関係者の内覧会への招待
- ・ 「ミュージアムロード美術館応援店MAP」取組への参画
- ・ 神戸海星女子学院大学大学祭、灘チャレンジ実行委員会（神戸大学学生を中心に運営）等への協賛

(イ) 美かえるカラフルマルシェの開催

ミュージアムロード沿いの阪神電鉄、シマブンコーポレーション、地元商店、県立美術館と共催するアートを軸とした賑わいづくりイベント。（平成28年～）

ワークショップやグルメ&物販など家族で楽しめるイベント形式で開催され、当館は、兵庫教育大学と連携し、産業活動から生じた余剰品を活用してお面を作るワークショップを実施した。

② 団体等との連携

日本自動車連盟（JAF）、コープこうべ等と団体割引提携を行い、会員等の来館促進を図った。（令和6年度実績／JAF：1,575人、コープこうべ1,178人）

③ 他館との連携

(ア) 周辺文化施設（神戸文学館、王子動物園、BBプラザ美術館、県立美術館 等）

- ・ 相互のポスター・チラシの掲示
- ・ 県立美術館とは、半券提示での相互割引を実施

(イ) 国内の美術館等

- ・ 横尾氏関連の美術館として広報連携 豊島横尾館、西脇市岡之山美術館
- ・ せとうち美術館ネットワーク（関西～九州の86施設が参加）や「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト（兵庫、岡山、香川県内の8館で構成）への参画
- ・ KOBEミュージアムリンク（神戸市内の美術館・博物館・資料館21館で構成）への参画

(7) 情報の提供・広報

『横尾芸術の一大拠点』、『様々な芸術に触れることのできる場』、『国内外の美術館等との連携』、『参加・体験型のミュージアム』といった当館の魅力を、様々な媒体により、幅広い層に伝えるとともに、ミュージアムロードをはじめとする地域との連携も図りながら、効果的な広報活動を展開。

① 展覧会毎の取組

- (ア) 県庁記者クラブへの情報提供、記者説明会の開催
- (イ) 横尾氏がデザインしたチラシ・ポスター等の配布
- (ウ) 神戸街めぐり 1 day クーポンや神戸観光スマートパスポートでの販売（神戸観光局）や、オンラインでのチケット販売（楽天チケット、ソノリゴ）
- (エ) 交通広告（阪急、山陽）の実施
- (オ) 三宮センター街へ展覧会 PR 用大型懸垂幕を設置
- (カ) 展覧会関連事業を通じた話題づくり（動画配信など）
- (キ) SNS 広告の活用(Facebook／Instagram、ホームページ誘導 8,059 回) やアート系インフルエンサーとの連携による発信

② 年間を通じた取組

(ア) マスメディアの活用

- ・テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞・雑誌等

(イ) 県広報誌（県民だよりひょうご）、兵庫ジャーナル等

(ウ) 国際的な PR

- ・英語字幕付きの YouTube 動画の制作・配信
- ・神戸 PR アンバサダー（在住外国人）の展覧会招待及び参加者による SNS 発信

(エ) インターネットによる情報発信（<https://www.ytmoca.jp>）

- ・館ホームページ、X（旧ツイッター）、フェイスブック、インスタグラム
- ・フォロワー数約 35 万人を持つ横尾氏の X（旧ツイッター）との連携
- ・当館公式ユーチューブチャンネルを開設（R2 年 8 月～）
ギャラリートーク（字幕：日・英）や当館学芸員が美術館の仕事の概要を語る「Y+TMOCA の舞台裏」（字幕：日・英・中・韓）を配信

(オ) 各種情報誌、フリーペーパー等への掲載

(カ) 横尾氏の連載

- ・週刊新潮「曖昧礼賛ときどきドンマイ」
- ・週刊読書人「日常の向こう側ぼくの内側」
- ・月刊神戸っ子「神戸で始まって神戸で終る」

〔参考：掲載等の状況〕

	新 聞
横尾忠則 寒山百得展	特集記事（展評等）9 回 案内記事（開催情報等）16 回
レクイエム 猫と肖像と一人の画家	特集記事（展評等）4 回 案内記事（開催情報等）24 回
横尾忠則の人生スゴロク展	特集記事（展評等）4 回 案内記事（開催情報等）19 回

3 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 31 台）
- ・カフェスペースの貸出（横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズショップのショップ設置・運営（横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置（2 台）

〔兵庫県民会館の管理・運営（収益事業）〕

当協会は、平成 18 年度から 7 期 19 年にわたり兵庫県民会館の指定管理者として管理運営を担っており、広く県民にホール・会議室等の施設を提供するなか、運営経費のコスト削減、経営の合理化に努め、芸術文化に親しむ環境の充実に努めてきた。

しかし、兵庫県が実施した耐震診断（時刻歴応答解析）の結果を受け、令和 6 年度末で閉館するとともに、指定管理も終了した。

【所在地】 神戸市中央区下山手通 4 丁目 1 6 番 3 号

【施設】 パルテホール（収容 144 人）、けんみんホール（客席数 360 席）、会議室（18 室）、集会室（3 室）、宴会室（3 室）、時間貸駐車場（36 台）、月極車庫（44 台）、団体事務室（21 団体）、営業店舗（2 業者）、アーティストサロン、兵庫県民アートギャラリー（4 室）

1 利用状況等

【来館者数】 2 3 0, 0 7 5 人

【利用状況】 (単位：日、％又は台、()内対前年比)

施設名	室数等	開館日数	利用日数	利用率
パルテホール	1 室	210	115 (43.4%)	54.8 (73.7%)
けんみんホール	1 室	210	131 (53.3%)	62.4 (90.3%)
会議室	18 室	3,780	1,891 (47.7%)	50.0 (80.8%)
集会室（和室）	3 室	630	292 (49.2%)	46.3 (83.4%)
宴会室	3 室	630	345 (50.6%)	54.8 (85.8%)
アートギャラリー	4 室	840	263 (41.0%)	31.3 (69.6%)
時間貸駐車場	36 台	275	275 (75.1%)	26,272 台 (71.3%)
月極車庫	44 台	12ヵ月	12ヵ月	230 台 (46.3%)

【利用料収入状況】 (単位：円、税込)

施設名	金額 ()内対前年比	施設名	金額 ()内対前年比
パルテホール	10,610,900 (40.2%)	事務室及び倉庫	17,215,151 (56.9%)
けんみんホール	6,630,750 (53.4%)	利便施設	322,657 (59.7%)
会議室	14,610,490 (46.4%)	月極車庫	8,280,000 (46.3%)
集会室（和室）	1,053,050 (51.2%)	時間貸駐車場	22,144,600 (71.6%)
宴会室	5,959,450 (50.0%)	その他（附属設備）	89,430 (55.0%)
アートギャラリー	5,580,250 (41.8%)	合 計	92,496,728 (52.1%)

2 ギャラリー運営会議の開催

公平・適正な利用を確保するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議（3 回）を開催し、貸出計画案の承認を得た。

- ・第 1 回運営会議 令和 6 年 5 月 1 6 日
- ・第 2 回運営会議 令和 6 年 9 月 1 8 日
- ・第 3 回運営会議 令和 7 年 2 月 6 日 （兵庫県民アートギャラリーに係る案件なし）

3 施設利用者の利便向上への取り組み

- ・有料駐車場の運営（時間貸：収容台数 3 6 台、月極：収容台数 4 4 台）
- ・喫茶等のスペースを貸出
- ・飲料自動販売機の設置（8 台）
- ・図書頒布販売、他主催入場券等の受託販売

4 耐震診断への対応

(1) 耐震診断（時刻歴応答解析）の結果

建物は鉄骨鉄筋コンクリート造であり、鋼材が密に入っているため、倒壊までは至りにくいものの直下型・長周期の両地震に対して、耐震性判断基準を満たしていないことが判明した。

結果（層間変形角の最大値）			構 造
耐震性判断基準	直下型地震 （阪神・淡路大震災）	長周期地震 （南海トラフ震災）	
1/100 以下	× (1/37)	× (1/95)	SRC (鉄骨鉄筋コンクリート)

(2) 震診断結果に伴う施設利用

令和6年度		令和7年度～
通常利用 R6.4～10	貸館利用停止 R6.11～ 入居団体移転 ～R7.3末	閉 館

(3) 閉館に向けた対応

- ・施設（貸館）利用者への周知・説明及び事後対応
- ・入居団体への周知・説明及び事後対応
- ・管理物件及び管理物品の兵庫県への引継ぎ

〔兵庫県民会館の管理・運営（評価）〕

利用状況等

耐震診断結果次第での閉館の可能性及び結果の周知により、定期利用者を中心に利用が減少したが、施設（貸館）利用者・入居団体等への丁寧な周知・対応に努め、概ね円滑に閉館を迎え、兵庫県へ引き継ぐことができた。

・施設（貸館）利用率の推移（単位：％）

区 分	R6 年度	R5 年度	H30 年度
パルテホール	54.8	74.4	66.2
けんみんホール	62.4	69.1	74.1
会 議 室	50.0	61.9	71.9
宴 会 室	54.8	63.9	71.3
集 会 室	46.3	55.0	62.3
アートギャラリー	31.3	45.0	46.2
計	48.2	59.8	67.3

・入居団体の移転状況

区 分	4 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
団体数	14	9	9	8	6	5	1

【県民会館の指定管理】

当協会は、指定管理者制度が始まった平成 18 年度から指定管理者として県民会館の運営を安定的かつ効率的に行ってきた。

毎年度実施してきた利用者アンケート（7 月に実施）では、「職員・スタッフの対応」は 88.5%の人が満足、「利用料金の設定」は 80.8%が「適正」、「総合的な満足度」では 67.3%の人が満足と回答しており、管理・運営の各項目で、概ね良好な評価を得た。

一方、施設の老朽化に伴い、「施設設備の状態」や「施設の清潔さ」についての「満足」は 60%以下にとどまった。